

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		市民情報センター・ゆうき図書館管理運営事業						予算事業名		市民情報センター・ゆうき図書館管理運営経					
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	図書館法						
			10	05	05	05	経常経費								
総合計画体系	未来を担う子どもと 生き生きした市民を育む地域を目指そう						事業の区分	主要事業							
	生涯学習環境の充実と市民が誇れる芸術文化の創造														
	地域教育体制の充実						担当課係等	生涯学習課 生涯学習係							
事業期間		継続 (平成16年度～ 年度)													
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
地域の課題を解決できる知の拠点となる施設、また、生涯学習を支援する地域の教育的・文化的基盤となる施設を目指す。							市民の要望並びに憲法(第19条、第21条、第23条、第25条、第26条等)の原理及び教育基本法、社会教育法の理念を踏まえた図書館法並びに結城市図書館基本計画書により設置された。								
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】								
○資料の収集・整備 (図書・逐次刊行物・視聴覚資料の収集・整備) ○地域支援 (子育て・ビジネス・行政支援等の情報収集・提供) ○生涯学習支援・推進 (職場体験学習・図書館ボランティア活動の場の提供) ○読書活動推進 (としょかんたんけんツアー・子ども司書養成講座・読書通帳の利用推進) ○レファレンスサービス (レファレンスコレクションの構築・レファレンスライブラリアンの資質向上) ○利用者支援 (施設・設備の利活用促進) ○施設・設備の改修							結城市民及び図書館利用者								
							【事業をとりまく環境の変化】								
							平成16年度から平成28年度は、市の直営で管理運営を行った。平成29年度から令和2年度は、ゆうき図書館と結城市民情報センターを一体的に管理運営することとした。その際、指定管理者制度を導入することとし、(公財)結城市文化・スポーツ振興事業団(以下、「事業団」)を指定管理者とした。 令和3年度から令和7年度においては、事業団を指定管理者として再指定した。								
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】							
○資料の収集・整備・情報提供 ○地域支援 ○生涯学習支援・推進 ○読書活動推進 ○レファレンスサービス ○利用者支援 ○施設・設備の改修				○資料の収集・整備・情報提供 ○地域支援 ○生涯学習支援・推進 ○読書活動推進 ○レファレンスサービス ○利用者支援 ○施設・設備の改修 ○指定管理者選定委員会				○資料の収集・整備・情報提供 ○地域支援 ○生涯学習支援・推進 ○読書活動推進 ○レファレンスサービス ○利用者支援 ○施設・設備の改修							
■事業費															
			R04年度		R05年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	235,130	275,196								
歳 入 計 (千 円)			235,130		275,196										
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)		金額 (千円)		金額 (千円)										
	01	報酬	18		24										
	10	需用費	853		1,000										
	11	役務費	160		209										
	12	委託料	216,258		248,473										
	13	使用料及び賃借料	13,419		22,093										
	14	工事請負費	4,422		3,397										
歳 出 計 (千 円) (A)			235,130		275,196										
伸 び 率 (%)					17.03										
備 考															

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	施設来館者数	人	目標	288,000.00	246,000.00	250,000.00
			実績	241,540.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	ゆうき図書館は、地域の課題を解決できる知の拠点であり、また生涯学習を支援する地域の教育的・文化的基盤であるため、市民からも図書館が運営されることの要望は高い。また、市民情報センターは市民の学習活動や交流の場を提供する施設として必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市と指定管理者が連携することによって、市民の読書や生涯学習の拠点として、安全かつ快適な利用が維持されている。
	手段の妥当性	A 妥当である	施設管理には専門知識が必要であり、指定管理者制度を導入しているものである。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	施設・設備の改修に多額の費用を要するが、情報センターは事業収入が多く見込めないため、コスト効率は低い。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	数多くの市民に利用されている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	ゆうき図書館や市民情報センターは、各種の自主事業や講座を実施し、子どもから大人まで参加しているため、生涯学習を支援する拠点として成果を上げている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	施設の管理運営は、概ね目標水準に達している。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
施設の運営は良好といえるが、建築後19年が経過し、施設・設備の老朽化が見られ、今後、改修に多額の費用が見込まれる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
施設・設備の改修には、安全性・緊急性を考慮し、計画的に改修を行うとともに、将来的には大規模改修を行う。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ■拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
方向性の具体的内容 市民情報センターは、災害時には災害対策本部の代替施設となり得る重要な施設であり、かつ生涯学習の拠点施設として長寿命化の方針が示されている。施設や設備の改修に最適な方法を調査研究するとともに、年次計画を立てて効率的に改修を実施していく必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） □拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ■改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	